

ウミネコ

蕪島はこの島のシンボルであるウミネコ (*Larus crassirostris*) の重要な繁殖地です。何世紀も前から、ウミネコたちは安全で食料が豊富な蕪島に集まり続けてきました。

ウミネコは通常、体長 44～48cm で、体重は最大で 0.6kg ほどです。白と灰色の羽毛、嘴の赤い斑点、黒い尾羽が特徴です。4 万羽ものウミネコが蕪島に集まって営巣し、その繁殖期は約 6 ヶ月間続きます。

2 月頃になると、ウミネコたちは日本各地の沿岸からつがいで蕪島に飛来します。ウミネコは一夫一妻制なので、多くの場合、過去につがいになった二羽と一緒に戻ってきます。3 月上旬、ウミネコは蕪島に滞在するための準備をします。この時期には、猫の声に似た特徴的なウミネコの鳴き声がよく聞こえてきます。「海の猫」を意味するウミネコの名前はこの鳴き声にちなんだものです。また、縄張りを主張するオスの攻撃的な行動が見られることもあります。

3 月末から 5 月中旬までは交尾、巣作り、そして抱卵の時期です。ウミネコは、足で小さな穴を掘り、そこに草などの材料を集めて巣を作ります。一回の産卵で 1～5 個の卵を産みます。卵は鶏卵と同じくらいの大きさで、黒い斑点が入ったオリーブ色をしています。産んだ卵は、オスとメス両方が数時間ずつ交代で抱卵します。卵は約 26 日で孵ります。例年 6 月中旬までにはほとんどの卵が無事孵化します。

ウミネコのヒナにはふわふわした黒い羽毛が生えています。太平洋から吹く風は冷たいので、ヒナはほとんどの時間を親鳥の温かい身体に身を寄せて過ごします。親鳥は約 45 日間、自分の子を守り、餌を与えます。

7 月中旬から下旬までには、ヒナは成体の大きさまで成長し、飛ぶ練習を始めます。8 月には、若鳥はすでに飛び方を習得しており、ウミネコたちは一群、また一群と蕪島を去っていきます。そして翌年、また戻ってくるのです。